

# 会派の意見

12月定例会を振り返って

## 市民クラブ

### 「西敷地問題」暫定利用も未定

この議会では、11月に白紙となった西敷地問題について、今後の方向性をただすため当会派議員含め多くの議員が質問に立ちました。市長は「今後の暫定整備の手法も未定であり、今年度中には議会とも相談して決めたい」としました。選定委員会は、公開プレゼンテーションなど透明性を確保しながら選定作業を進めましたが、応募条件が厳しく辞退が相次ぎ、残った1者の提案も選定基準を満たさず不採用となりました。

長年、市民をも二分した高度利用か広場利用かの論争は、当会派内でも意見が分かれているのが現状です。

今後執行部には、市民への丁寧な説明を一層心掛け、拙速な結論は控えるよう望むものです。

## 自由民主党・中道の会

今議会、本市議会では初めてとなる「ゼロ市債」が上程されました。ゼロ市債とは、道路改良・舗装工事の平準化を目的とした債務負担行為であり、当会としても以前より提言を重ねてきたものです。実施までには少し期間を要しましたが、地元事業者にとっては今後、有益なものであり、高く評価しております。また不安定な世界情勢が続く中、電気ガス等の高騰対策として市直営並びに民間の指定管理事業者への支援金についても評価するものです。なお、畜産酪農業への緊急支援に関する意見書議案に対しては、国としてすでに実行段階であり、今後の継続的な施策もすでに講じられているため必要性、適時性を鑑みての判断です。

## 日本共産党

### 「水」「子育て」など暮らしを支える提案・指摘で市政を動かす

10月にコロナ・物価高騰対策の緊急要望を市長へ提出しました。11月臨時会で議題となった水道料金減免の延長や放課後児童クラブ

利用料軽減などは会派の要望も踏まえており歓迎しましたが、中山間地域や放課後等デイサービスが制度の隙間として支援から外れていることを指摘しました。その後、12月議会ではこうした隙間を埋める施策が可決されました。

国の個人情報保護法改正に伴う個人情報関連の新条例が提案されましたが、これらの目的は企業の利益のために個人の情報を本人同意無く活用することなどであり、会派として反対討論を行いました。

## 公明党

### 市民生活を支える政策実現を！

かねてより公明党が提案していた「ゼロ市債」の活用が始まりました。災害の多い本市にとって、公共事業の平準化は、業界関係者の安定的な雇用をもたらすばかりでなく、市民生活の安心・安全な環境を築くことにもつながります。

公明党は、さらなる施工時期の平準化率の向上を求めています。

また、国が進める「出産・子育て応援給付金給付事業」は、「高知市版ネウボラ構想」を充実させ、その波及効果に期待が寄せられるものです。公明党は、伴走型の子育て支援の充実を求め、今後の事業展開を見極めてまいります。

## 新しい未来

### 西敷地には民間高層建築物は不要 審査会の決断に賛意

新図書館西敷地の民間事業者の提案は県外ホテル業者1社のみとなり、審査基準に満たないため不採用となった。市民アンケートに示された観光客のリピート支援、日曜日やよさこいの活性化のために広場で、さまざまな形態での使用をすべきであると主張し、振り出しに戻ったことは歓迎する。

## 清和クラブ

### 新図書館西敷地活用について

図書館西敷地は新しいまちづくりの出発点。現在はエネルギー高や物価高騰など社会環境が厳しい。暫定使用もやむを得ない。これまでの意見を整理し、改めて西敷地の有効利用に取り組むべきである。

## 山嶽会

### 身近な課題を市政に反映

高橋裕忠議員が本会議で登壇し、国民保護から介護保険の課題について質問・提案をいたしました。今後とも市民の皆さまの身近な声にしっかりと耳を傾け、市政に着实に反映させてまいります。